

第33回

夏のインターウニ・ゼミナール

33. *interuniversitäres Sommerseminar für deutsche und japanische Kultur*

(ドイツ語ドイツ文化ゼミナール)

参加者募集!



夏のインターウニは 1978 年以来毎年夏休みに開かれている合宿ゼミナールです。ドイツの文化・社会に関心を持つ日本人とドイツ語圏の学生・教員たちが、全国のさまざまな大学から集まって(*interuniversitär*)、一つのテーマについて日独の文化を比較・対照しながら(*interkulturell*)、専門の枠を超えて(*interdisziplinär*)、ドイツ語で話し合うゼミナールです。また、参加者が、国籍や文化の違いはもちろん、教師・学生・社会人といった立場の違いや世代差・性差を超えて互いに学びあう(*Inter-Lernen*)という姿勢を大切にしています。このゼミナールが目指しているのは、単なるドイツ語会話の練習ではありません。現代のさまざまな問題についてドイツ語のテキストも読みながら、ドイツ語母語話者もまじえて、できる限りたくさんドイツ語で議論してみましょう!

セクシュアリティ - 身体・イメージ・政治 *Geschlechterbeziehungen -- Körper / Image / Politik*

私たちの、あなたが生きているこの社会は、必ずしもあなたや私に見えている通りだとは限りません。社会には見えない仕組みがあります。それをより良く知り理解するには、自分とは違った立場から社会を眺めてみることもひとつの方法でしょう。社会は様々な分割線に沿って構成されています。それはたとえば金持ちと貧乏人、若者と老人、健康な人と病気の人、国籍所有者と外国人、そして男と女の間を走っているのです。この最後の分割線、つまり性差を私たちは今回のテーマに選びました。

この分割線を飛び越え向こう側へと赴くこと、つまり他者の視点からものを見ること。それは簡単なことではありません。そのために私たちはまず、当たり前だと思われている事柄を普段とは異なった視点から眺め不思議だと感じる練習から始めてみようと思います。このゼミナールが終わった時、あなたは同じ事柄が性の違いによってまったく異なった姿を見せることに驚き、社会を今までとは違った新鮮な視線で見ることになるでしょう。

参加お申込み、詳しい情報、お問い合わせは下記へ!

<http://www.interuni.jp/>

参加資格：ドイツ語を勉強している学生・院生、および社会人。

日時： 2011年7月30日(土)～8月3日(水)

場所：長野県上水内郡信濃町野尻湖 ほとり荘

参加費：39,000円 4泊5日の宿泊・食事代含

(交通費は含まず。池袋から往復バスを用意；片道4500円)

主催：インターウニ実行委員会

代表：足立信彦(東京大学)、浜崎桂子(立教大学)

メール連絡先 mail@interuni.jp

協力：Goethe-Institut(ドイツ文化センター)

DAAD(ドイツ学術交流会)

